

## 1. 協働型学校評価重点目標について

「自分の長所が分かり、それを生かして学校生活を送ることができる児童を90パーセント以上にする。」

### <学校の取組>

- ・自分の長所(よさ)はどんなところなのかを確認させる。
- ・自分のよさを生かした目標を考え取り組ませたり、定期的に振り返ったりさせる。
- ・行事に取り組む際、自分のめあてを考えたり、振り返ったりするようにさせる。

### <保護者の取組>

- ・自分の子の良いところを意識して褒める。
- ・できないことを責めず、次にどうしたら良いかを話し合い、励ます。
- ・学校・家庭以外の環境に子供を積極的に連れて行き、そこでの活動を見守り、励ます。

### <地域の取組>

- ・子供会や地域行事に子供を参加させ、その活動を認め励ます。
- ・学校の教育活動に積極的に参加し、児童と関わりながら、児童の活躍を見守り励ます。

**※Aが3点, Bが2点, Cが1点, Dが0点として平均を算出しています。  
全員がAだと3.0になります。**

		保護者平均	職員平均	児童平均
(1) 学校の取組について	行事や学習では、めあてを持って取り組ませている。	2.9	2.7	
	学校は、行事等が終わった際に、よかった所・次に頑張りたいことなどを振り返って考えるよう指導している。	2.9	2.5	
	学校は子供たちのよさをほめたり認めたりしている。	2.9	2.7	
	自分の長所(よさ)が分かり、それを生かして学校生活を送れるように、学校は子供たちの活躍場面を設けている。	2.8	2.8	
(2) 子供の様子について	行事や学習では、めあてを持って取り組んでいる。	2.6	2.6	2.9
	行事等が終わった際に、よかった所・次に頑張りたいことなどを振り返って考えている。	2.6	2.4	2.5
	自分には、よいところがあると思っている。	2.6	2.4	2.8
	自分の長所(よさ)が分かり、それを生かして学校生活を送っている。	2.4	2.1	2.7
(3) 保護者の取組について	子供がめあてに向かって取り組む姿を応援している。	2.7	2.6	
	できないことを責めず、次にどうしたらよいかを話し合い、励ましている。	2.5	2.2	
	子供のよさをほめたり認めたりしている。	2.6	2.6	
	子供が自分の長所(よさ)に気付ける機会を増やすために、学校・家庭以外の環境に子供を積極的に連れて行き、そこでの活動を見守り、励ましている。	2.2	2.7	

**【自由記述】****【保護者】**

- できる限り見たい、やりたい、行きたい、という子供の気持ちに力を貸し、自分の体で感じられるように努めています。体験を重視しています。今後は、数十人という今よりも大きい組織に慣れるようにと何か考えています。
- たまに褒めて、気分を上げていた。
- 高学年から中学生への進学を見据えて、広いコミュニティでの生きる力や社会性を育むため、いろいろな外部イベントに参加するようにしている。それを通して客観的に子供が自分の強み・弱みを把握し、弱い部分を改善していければよいと考えている。
- 時間で予定を立てて行動させている。自分で時間で予定（段取り）を立てて行動できるように指導していきたい。
- 興味を示したときは、よほど危ないことではない限り、やらせてみるようにしている。（例えば、料理の手伝いなどで包丁を使用したり、炒めたりなど）興味を持っていること（とき）は、その部分が伸びる時期かなあと考えているので、体験できる機会を作っていきたい。
- 毎日明るく楽しく学校に通っているのも、もっとそのようなところを褒めていきたいと思う。
- 本人のよいところが見えたときは、よく具体的にほめるようにしています。今後は、さらに、本人が自分の長所に気付き、自信を持って学校生活を送れるよう励まし続けたいと思っています。
- 自分で進んで準備や用意をするということがまだできない（言われないとやらない）ので、自分から進んでできるような工夫（チェック表などを作りたい）を考えています。
- 特に実践していることはないです。今後どんな風にしていきたいか、考えていきたいと思います。
- 興味があることや好きなことはできるだけ体験できるようにして、うまくできたときはほめ、できないときでも、再チャレンジしてみるように励ましている。身に付いたことなどは、学校でも挑戦するように声掛けをしている。
- 好きなこと・やりたいことには挑戦させてあげているつもりですが、改めて考えてみると、コロナ禍ということもあり、あまり外へは連れ出せていないなあと思いました。今後は、外のイベントなどにも参加させてあげたいです。
- 以前持ち帰った「じぶんのよさ」について記入する用紙に、「見付けられない」のようなことを書いていて、驚きました。謙遜したのでしょうか。普段の生活や態度を見ても、特に心配はないですし、先生からもおほめのことばをいただいたので、もっと自信をもってほしいと思います。家庭でももっと言葉にして子供のよさや頑張りをほめてあげたいです。
- よいと思ったことは、ほめる。感謝する。
- 学校での様子について、もっと普段から聞き出したりして、コミュニケーションをとっていききたい。

**【職員】**

- 実践していること
  - ・よいところカードの使用。行事ごとにめあてや振り返りをする。帰りの会の「今日のきらきらさん」で、友達のよいところを見付ける活動を設定。校外学習や現物資料等を用いて、児童の興味・関心を引き出す。
  - 帰りの会で「友達のよいところ発表」の場を設け、友達の発表を聞くことで、自分のよさに気付けるようにしている。
  - 「自分のよさ」の記入を折に触れて実施し、自分のよさを確認できるようにしている。
  - 機会を捉えて、行事・授業後の振り返りなど自分の頑張ってきたことやよかったこと等を書かせている。
  - 学活などで、友達同士で「ほめほめカード」や「ありがとうカード」、「BDカード」などを送り合っている。
  - 帰りの会で、その日の日直さんのよかったこと・頑張ったところなどを発表し合っている。
  - 児童の頑張りの成果の可視化（ビー玉集め）
  - よいところを見つけたとき、よい行動を見つけたとき等、意識的にほめるようにしている。
  - ほめたり認めたりする機会を増やせるよう、スモールステップで目標を設定する。
  - よいところカードの定期的な記入。
  - 道徳の単元との関連で取り扱ったり、その都度本人に伝えるなどほめたりしている。

**【考察】**

学校の取組について、4項目すべてで、昨年度と比較して同等か評価が高くなっており、昨年度からの継続した取組、また実情に合わせて新たに取り組んだことが御理解いただけた結果と捉えております。児童自身のアンケート結果に目を向けますと、「自分にはよいところがあると思っている」では、3.0満点中2.8、「自分のよさが分かり、それを生かして学校生活を送っている。」で2.7となっております。内訳を詳しく見てみますと、全校児童(100%)が自分にはよいところがあると思っており、また、97%の児童が、自分のよさを生かして学校生活を送ることができています。

今年度は、保護者の皆様からも児童へ向けてたくさんの賞賛のコメントをいただき、ありがとうございました。児童の自己肯定感が高まるような取組を次年度も引き続き行ってまいります。

## 2. 学校運営について

### (1) 教育方針・教育活動全般について

評価の観点	保護者平均
①学校は、教育方針、教育活動内容を分かりやすく伝えている。 (学校要覧、PTA全体会、学校・学年だより、学級懇談会、ホームページ、ブログなど)	3.0
②学校は、野村ならではの特色ある教育活動を行っている。 (米作り、全校遠足、異学年交流、美化活動、若草太鼓の活動など)	3.0
③学校の教育活動は、少人数の良さを生かしたものである。	3.0
④学校行事は、子供が十分に活躍できるものである。 (卒業式、入学式、運動会、野外活動、修学旅行、野村っ子まつりなど)	3.0
⑤学校は、保護者と連携・協力しながら教育を進めている。 (家庭訪問、授業参観、自由参観、個人面談、日常の連絡など)	3.0
⑥学校は、地域と連携・協働していく努力をしている。 (各教科、総合的な学習の時間での地域学習やコミュニティグスタの活用など)	2.8
⑦学校は緊急事態(災害・事故等)が発生した場合の対応が適切である。 (一斉配信メール、引き渡し訓練など)	3.0
⑧児童の一斉下校時刻の設定や、時に応じた下校指導は適切である。	2.9
⑨学校は、保護者の願いに応えた教育活動を行っている。 (アンケート調査、意見の集約など)	2.8
⑩学校のいじめ防止基本方針を知っている。	2.9
⑪学校のいじめに関する相談窓口は、教頭、養護教諭、いじめ担当教諭(高橋典)、スクールカウンセラーであると知っている。	2.8
⑫学校の相談窓口は、相談しやすい。	2.8
⑬学校では、いじめの未然防止に向けた取組を適切に行っている。	2.7
⑭学校では、いじめが起きた場合、適切に対応している。	2.7

#### 【自由記述】

○学校行事では、コロナ禍であるものの最大限善処いただき、充実した活動ができていると感じている。

○野村小の教育方針、教育活動全般に関して、特に不満を感じる点はなく、満足しています。ありがとうございます。

○⑪に○評価を付けたのは、他の先生がいじめ担当だと思っていました。今後把握しておきます。

○ホームページのブログ、学校だよりを見るのを毎回楽しみにしています。子供たちの普段の様子など、情報量が多く、見応えがあります。いつもありがとうございます。

○一人一人の活躍の場が多いので、何事にも皆いきいきと取り組んでいて素晴らしいと思います。

○兄弟と一緒に下校できるように、下の子が高学年の下校時刻まで校庭で遊んだり図書室で過ごしたりできるようになると助かります。⇒(学校より)本校は、安全面から一斉下校の形をとっております。また、職員が少なく、放課後は出張や会議等があるため、残っているお子さんの見守りまでなかなか手が回らないのが現状ですので、御理解いただけますと幸いです。ただし、突発的に御家庭の事情でお迎えが遅れてしまう等ございましたら、学校まで御相談ください。

#### 【考察】

学校運営につきましても、大変高い評価をいただいております。今年度は、コロナ禍ではありながら、学校といたしましては、感染症対策を取りながら、できる限り学校行事や校外学習を実施してまいりました。保護者の皆様にも、学校行事でのお子さんの成長をした姿を御覧いただけたことは、安心感につながったと思われま

す。

今後も、少人数のよさを生かした教育を行ってまいります。お子さんのことで御心配なことがあれば一緒に考えてまいりますので、学校まで御連絡をお願いいたします。

(2) 子供への指導について

①学校は、子供のことをよく理解して指導に当たっている。	2.8
②学校は子供の学校生活全般において、適切に指導している。	2.8
③学校は、子供の学習について、適切に指導している。 (わかる授業の工夫、家庭学習の工夫など)	2.8
④学校は、読み・書き・計算などの基礎学力を身に付けるために、きめ細かい指導をしている。 (授業、スキルタイム、家庭学習など)	2.8
⑤学校は、子供の相談に適切に応じている。 (個人面談、日常の会話など)	2.8
⑥学校は家庭への連絡をきめ細かく行っている。 (学級だより、連絡帳、電話連絡など)	2.9

**【自由記述】**  
 ○にこにこファイルや学級だよりを通じて、子供の学校生活の様子を知ることができている。  
 ○先生方は子供の特徴を理解していただき御指導くださっているなど、いつも感謝しています。  
 ○一人一人に合った指導をしてくださっていて、本当に感謝しています。毎週の学級だよりは、子供の学校での様子を知ることができて、毎週楽しみにしています。  
 ○相談すると、一人一人個人に合わせた指導をできる範囲でやってくれていると思う。今後も個人の能力に合わせた指導を行ってほしい。(人数が少ないからこそ対応していただけたらと思っています。) 去年よりも学校行事などもたくさんあり、子供たちにとっていい経験をたくさんさせてくれていると感じています。  
 ○学童でのトラブルにも親身になって考えてくださり、ありがとうございます。善悪の判断など、一緒に根気強く伝えていただき、感謝しています。  
 ○一人一人の長所・短所を理解した上で指導してくださっていると感じます。  
 ○友達がふざけたりして注意されるときに、先生の言葉遣いが気になると言っています。先生の気持ちも分かりますが、もったいないです。⇒(学校より)教師は、子供たちにとって大切な環境の1つです。今後も、教職員としてふさわしい言葉遣いを心掛けてまいります。

**【考察】**  
 子供への指導につきましても、高評価となっております。学校からの学級だよりや電話等で御家庭への連絡をさせていただくことで、保護者の皆様と情報を共有でき、安心感を持っていただけていることと思います。  
 今後も引き続き、御家庭への連絡を細やかに行っていきますと共に、分かる授業・きめ細やかな指導を継続してまいります。

(3) 子供の姿について

	児童平均	
①お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。	2.9	2.8
②お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。	2.6	2.5
③お子さんは、学校行事や集会に喜んで参加している。	3.0	2.9
④お子さんは、友達と仲良くし、思いやりがある。	2.7	2.9
⑤お子さんは、進んで運動したり、戸外で遊んだりしている。	2.6	2.7

#### 【自由記述】

○毎日楽しく生活しているようである。ただ、友達への思いやりであったり、状況に応じた行動であったり、周りへの配慮ができていないか心配な部分もあり、家庭でも指導していきたい。

○入学してから今まで、一度も「学校に行きたくない」と言ったことがなく、喜んで朝学校に行っているの、親もほっとしています。学校生活を通して、さらに、お友達とのかかわりの点や身体を動かす点で成長していったらと思っています。

○基本的に学校は楽しいようです。昨年から4年生の始めの頃は、お友達ともめ事も多かったようですが、最近はあまりそついうのもないようなので、楽しく毎日を過ごしているのかな？と感じています。

○下の子が気持ちの面で心配な部分はありましたが、楽しそうに行っていて、うれしいです。

○学校から帰ってくると、その日あったおもしろい話を聞かせてくれます。毎日話すことがあるのは、すごいなあと思うほどです。休み時間は、お友達に合わせることなく外に行きたいときは外、中で過ごしたいときは中にいるようで、自分の意思で行動できるのは、すごくいいことだなあと思います。

○おかげさまで毎日楽しく過ごしています。クラスの皆とも、学年の違うお友達とも仲よく遊んでいるようで、すごくいい環境だなとつくづく思います。

○近くに公園等もないし、友達も近くないので、あまり外で遊ばない。

○授業でまだ習っていないところが宿題で出たりすることがあり、困っているときがありました。宿題は、予習より復習の内容がいいと思います。⇒(学校より)宿題は、学習の進み具合を見ながら、予習の内容になる場合と復習の内容になる場合がございます。予習の内容の場合は、自宅で保護者の方々に確認しなくとも進められるように、子供たちにやり方等をきちんと説明して取り組ませていきたいと考えています。

#### 【考察】

こちら、肯定的な評価がほとんどです。中でも、「学校行事や集会に喜んで参加している」の項目では、保護者も児童も特に数値が高く、児童の実際の参加の様子を見ましても、楽しんで参加している児童がたくさんいることが結果につながっていると考えられます。また、思いやりに関する項目では、特に児童自身の評価が高く、野村っ子らしさを生かして、友達に優しくできる姿を児童が自覚しているものと捉えることができます。次年度も、児童が楽しく通える学校づくりをめざして取り組んでまいります。

#### (4) その他

○今後も引き続き厳しくよろしくをお願いします。嘘つき、直る気配なし・・・

○毎日、「今日、楽しかった。」と帰ってくるので、安心して通わせられます。ありがとうございます。

○去年までコロナのためにできなかった行事などが今年は対策に留意しながら行えたことに感謝している。

○いつも先生方が子供に対して細やかな配慮や熱心な指導をしてくださっていること、本当に心から感謝しています。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

○今年度は、コロナ禍前とほぼ変わらない行事を開催してくださり、また保護者も参加できる機会が増えてありがたいです。自分の目で子供たちが活躍する姿・楽しむ姿を見ることができたことに、感謝しかありません。

○「tetoru」のアプリ導入がとてもよかったです。メールでの連絡だと気付くのが遅くなるのが多々ありました。欠席・遅刻の連絡もスムーズにできて、ありがたいです。

#### 【学校関係者評価委員の方々からの御意見】

1 自己評価(児童・保護者・職員)について

・先生方の自己評価が保護者よりも低くつけている項目があり、「自分に厳しく」評価しているという印象を受けました。

・3つの選択は、とてもスムーズに進むと思います。3つの立場からの評価でそれぞれに考えていることが違ったりが当然だと思います。

・それぞれ自分の立場から見た評価になっていて、的確に評価されていると思います。

・学校よりは、ほとんどの方が見るので、よろしくお願いします。

・評価項目を列挙し点数付による評価方法は適切であるが、第三者による評価も重要であり、例えば、出入りの業者等に学校の印象をアンケートで評価してもらうなどを考慮した方がよいのでは。

・三者の評価点に乖離が見られる箇所が相当数あるので、その分析を行うことが重要。

・保護者の取組にもありましたが、できないこと(苦手なこと)にも挑戦する取組を入れてもよいかと思う。

・保護者と職員の視点の違いが分かる結果ではないかと思う。ほめることは案外難しい行為だと改めて考えさせられる。

・得られたデータを分析し改善点を洗い出すのは、時間と手間が掛かる作業なので、じっくり時間を取って取り組むのがよいかと思います。(人数が必要ですし、幅広い考えをまとめるのは、大変です)分析方法は、特性要因図とかKJ法とかの手法を使うと、便利かと思います。

・アンケート内容が適切で、幅広く意見を聞いて、とてもよいと思います。

・重点目標の達成に向け、三者が相互に努力されていたことが、結果に表れていると感じました。また、職員の児童に対する期待の高さや使命感の強さを感じました。

## 2 野村小学校の課題について

- ・児童数が少ないため、個人の長所を伸ばすこと・認知することについては、よい環境であるが、大集団での比較が難しく、自分の客観的なレベルが分かりにくい。
- ・コロナ禍での野村小しか経験したことがないので、難しいところですが、やはり児童が集まらないことが一番の課題かと思います。
- ・この学校は、やはり児童数がもう少し多くてもよいと思いますが、地域的に家が建てられず、そして、未婚数の増加により、ますます拍車がかかっています。これは、学校の課題というよりも、社会的・地域的な問題であり、町内会が大きなエネルギーで行政に対して声掛けをする必要があると思います。
- ・小規模校としての強みを十分に発揮して特色ある教育を継続していくことにより、学校運営の評価が高まると思います。
- ・自由記述にもありましたように、広いコミュニティ作りがあればよいと思います。
- ・コロナ禍での工夫があり、行事などの開催がとても高い評価を受けている。3年分を受け止めるような実体験ができるとよいと思います。
- ・児童数の確保ではないかと思います。1クラス20名くらいになれば、活動範囲も広くなり、充実すると思います。
- ・地域的な問題なので、行政・地域住民が取り組む内容ではありますが、野村小学校をこれからどうしていきたいかの意思統一が必要だと思えます。
- ・今はとても恵まれています、将来的に様々な集団の中でも意思疎通が図れ活躍できる児童の育成が課題の一つではないかと思えます。

## 3 協働型学校評価について

- ・よいところカードを使用することで、しっかり自分について考え、向き合うことができたと感じています。
  - ・考えるだけでなく、文字に起こすことで自分のよさをより認識できるようになると思うので、とてもよい取組だと思えます。
  - ・これは、個人的な問題で、子供のよいところをほめ足りなかったなと反省しています。
  - ・90%でも十分高い設定だったと思いますが、継続でよいと思います。
  - ・個人それぞれの長所が違い、自分の得意なことや長所を理解し取り組んでいる様子を休み時間や授業中に見て思いました。
  - ・自分のよいところを自分自身で記入するのはとてもよいと思います。なかなか自分の長所を見付けるのは、とても難しいことだと思います。
  - ・コロナ禍により、まだまだ地域活動が少ない（お祭り・敬老会）と思いますので、地域と児童のかかわりをもう少し望んでいます。
  - ・昨年度をベースとして、とてもよい目標と思いました。
  - ・職員の方の評価点がかかなり低い項目があるが、評価時期が適切かどうか分析する必要があるのでは。
  - ・地域との関わり合いを行うことは、地域団体との連携を十分に行うことが必要です。
  - ・90%→100%にできる。（90%はとても高い数だと思いますが、残りの10%がとても心配です。）
  - ・長所と短所は見方によって変わる物と考えますので、短所と思うことが長所になったり、その反対だったり、表現する用語の使い方次第で変わると思うので、長所は振り返りで考え、短所は前向きに考えるような仕掛けがあればよいと思う。
  - ・家庭ではできないこと、学校ではできないことがそれぞれあると思うので、その分担？をうまく調整できればよいかなと思う。
  - ・地域では、青年会（一部父兄も加入していると思う）や環境保全会（植栽等に一部参加している）等地域組織の交流があれば、幅広い活動ができると思う。
  - ・継続でよいと思います。1年ごとにテーマ選定なのか、何か年でのテーマ決めなのか分かりませんが、単年での評価は難しいと思うし、比較評価があってもよいと思うので。もしくは、近いテーマでレベルを上げた取組をする。
  - ・学校での児童の様子を見て、自己の長所を生かして生活していることがよく分かりました。また、アンケート（2）の児童の回答が表していると思います。
  - ・先生方の児童一人一人を理解して長所に気づき生活に生かせるよう工夫されている努力がすばらしいと思います。
  - ・コロナ禍で地域行事の参加や外部との交流が思うように進まなかったと感じました。
  - ・児童のよさを更に伸ばす取組が、課題の克服を目標としてはどうかと思います。
- ## 4 その他のご意見
- ・学校教育や取組において、一目置かれるような突出した特色を出すべきではないか。
  - ・子育てが家庭のみではなく、地域社会で支える物に変わりつつあります。私たち地域が子供たち一人一人の育ちのために最善を尽くしたいと思えます。